

悦目抄

上

4499
1



あな
細
記
上

門 八 〇
鏡 4499
巻 1

499

東海

一切の事

孝

漢事れんたあひくしんしん
一切の事いしんしんしんしん
孝いしんしんしんしんしん
中いしんしんしんしんしん
ていんしんしんしんしんしん
いしんしんしんしんしんしん
とまれの文徳ありやんしん
らうしんしんしんしんしん
あしんしんしんしんしんしん
いしんしんしんしんしんしん

藏書

指車

昭和九年九月九日 購末

東海

十

カ一あひよやす

上二ついで下二かくひ口念二かくぬ

上二かくわ下二くひ上二かくれた下二くを

上二くう下二かくふ上二くね下二く

口念二かくまふくひをのうきゆういりよりり

ワういもあれくろくしす

大二かくたたくてあしうろくさふ事

上二かくらう下二かくらうあ又下二かく極く上二かく

上下二かくひんくしんい下二かくらうは上下二かく

上二かくらうも下二かくらうひんま(上二くしん

とくしんかくしんく下二くうらか下二かくらうひん

ト二くううた上トとわひ書二くまこト二くううた

上トとわひ書二くう下二くううう上トとわひ

所トト二かくううた上トとわひまふみれ上二くう

と下二くうらうひ上二くひ上下二わぬを下二くう

あ上トとわぬふ上二くううく上トとくうぬで下二

くうらうあ上トとわぬあト二くぬら下トとわぬ

上二かくぬかん下二くうぬみ上下二わぬ結一上二かく

うらう上トとくうぬ

一辨とくうのひんしん種二の板実秘事ありはんた

よらん時思業一人を赤人もくうりあはぬまは

我素とくしんまうたむくうりてまうりてくうひやま

東山

E

くまのこゝろに...
一...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...
十一...
十二...
十三...
十四...
十五...
十六...
十七...
十八...
十九...
二十...
二十一...
二十二...
二十三...
二十四...
二十五...
二十六...
二十七...
二十八...
二十九...
三十...
三十一...
三十二...
三十三...
三十四...
三十五...
三十六...
三十七...
三十八...
三十九...
四十...
四十一...
四十二...
四十三...
四十四...
四十五...
四十六...
四十七...
四十八...
四十九...
五十...
五十一...
五十二...
五十三...
五十四...
五十五...
五十六...
五十七...
五十八...
五十九...
六十...
六十一...
六十二...
六十三...
六十四...
六十五...
六十六...
六十七...
六十八...
六十九...
七十...
七十一...
七十二...
七十三...
七十四...
七十五...
七十六...
七十七...
七十八...
七十九...
八十...
八十一...
八十二...
八十三...
八十四...
八十五...
八十六...
八十七...
八十八...
八十九...
九十...
九十一...
九十二...
九十三...
九十四...
九十五...
九十六...
九十七...
九十八...
九十九...
百...

句よあそびたき事れ...
一...
二...
三...
四...
五...
六...
七...
八...
九...
十...
十一...
十二...
十三...
十四...
十五...
十六...
十七...
十八...
十九...
二十...
二十一...
二十二...
二十三...
二十四...
二十五...
二十六...
二十七...
二十八...
二十九...
三十...
三十一...
三十二...
三十三...
三十四...
三十五...
三十六...
三十七...
三十八...
三十九...
四十...
四十一...
四十二...
四十三...
四十四...
四十五...
四十六...
四十七...
四十八...
四十九...
五十...
五十一...
五十二...
五十三...
五十四...
五十五...
五十六...
五十七...
五十八...
五十九...
六十...
六十一...
六十二...
六十三...
六十四...
六十五...
六十六...
六十七...
六十八...
六十九...
七十...
七十一...
七十二...
七十三...
七十四...
七十五...
七十六...
七十七...
七十八...
七十九...
八十...
八十一...
八十二...
八十三...
八十四...
八十五...
八十六...
八十七...
八十八...
八十九...
九十...
九十一...
九十二...
九十三...
九十四...
九十五...
九十六...
九十七...
九十八...
九十九...
百...

目下紀丹と紀國との名をいふ詩はあはれ
 らふとみうとていふ詩一冊にみえり相もわら
 らぬとみうとていふ詩一冊にみえり相もわら
 てがらむとていふ詩の古くはあつたといふ
 所をみえりといふ詩にみえりといふ詩の
 のこころをいふ詩の目録とていふ詩の
 目録とていふ詩の目録とていふ詩の
 西葉集のりうとていふ詩三十八巻三十
 とみえりといふ詩の目録とていふ詩の
 らぬとみうとていふ詩一冊にみえり相もわら

一 梅のこゝろあはれ第一二句とていふ詩の
 目下紀丹と紀國との名をいふ詩はあはれ
 らふとみうとていふ詩一冊にみえり相もわら
 らぬとみうとていふ詩の目録とていふ詩の
 西葉集のりうとていふ詩三十八巻三十
 とみえりといふ詩の目録とていふ詩の
 らぬとみうとていふ詩一冊にみえり相もわら

西葉集
 一

いふ天象池儀植物雜物など歌の事いふもひ
よわゆるん用とよまらんあつてはるるをさうし
よあやせを遣ひしる物しるしたるの時よ
あまうの用とわらふさそひき涼なるし
いよ歌して花とよあつてあつてしるあつて
しるさうと文字といふしるしる傳ありしる
なすのもの歌ふあつて又年歌ふ年歌ふ又
の連しるあつてしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる

目すいあしるもひしるしるしるしるしるしるしるしるしる
あつてしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
らんあつてしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる
しるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしるしる

反目抄

五春と早まとのさよの露あめ月橋とつらさ
とあまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも
とまのりもまのりもまのりもまのりも

あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも
あまのりもまのりもまのりもまのりも

一 歌とあくやうの二巻あるやう物なることとす川略とありて
とらうにほらうのやまは海いらもとされむの竹のたはら
わてら弄の二行七字の書り一三行の字二首か
あられの二行七字の書也又七と七とあく也年号の
おくは書いとあれのわらう一はくうのひくありの
一番の歌は下をよもうのえま一弄は又音あはれま
たとひは海よりいふ世の弄のうらなむとて顯され
うしよとよむしうしと作とほま弄
お月雨はあうぬね本のかう読ん
そのおとわらひ音あうきり
このお月あうまうねとあまのいんあんの字



あくされう物と獨あもころりあはらうくあつて
くひまれう物と命あうまうきそそむ海一はら
とひやううこのお月あうあはれ本緒のむよら
しそむしとて師道あはらう
お月あれあうのたう橋水うあ
とらうのほらうあしをたらわらり
お月あうあはれあんの字詞あひしてはあはれ
一弄の人はらうてらうあ一思と女あの前あわ
つらうとあはれあうたあはれあてらうあ
なまはれあはれあてらうあはれあてらうあ
おらうあはれあはらう一僧侶のあはれあ

とていふ人の子を人の親とていふはさういふこと
なりといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
ふえといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
をいふとていふはさういふはさういふはさういふ
なりといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
すてのいふはさういふはさういふはさういふ
ひいすといふはさういふはさういふはさういふ
一たりといふはさういふはさういふはさういふ
六并 ねいすといふはさういふはさういふはさういふ
いふはさういふはさういふはさういふはさういふ

とていふ人の子を人の親とていふはさういふこと
なりといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
ふえといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
をいふとていふはさういふはさういふはさういふ
なりといふやうに思へたまひ字とていふはさういふ
すてのいふはさういふはさういふはさういふ
ひいすといふはさういふはさういふはさういふ
一たりといふはさういふはさういふはさういふ
六并 ねいすといふはさういふはさういふはさういふ
いふはさういふはさういふはさういふはさういふ

まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 もつて一かきこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに

まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに
 まつをかんまゝにこゝろをこゝろにこゝろに

ちもやのからんたにうましくのいふあーんかすい
 ちつしをてあつてもうつち葉のうらうらうら
 ちいさいせもよひつらうらうらなまら
 ちかきいまーりたうまのまら
 ちらきよひつらやまらうらうら
 ちあしよ下もあつてゆえ右にまらうら
 ちれいーりまらうらうら
 ちあつちのまらまのせしんまらうらうら
 ちらうの梅のいまらうらうら
 ちらきよひつらやまらうらうら
 ちうらまらうらうらうらうら

飛魚錯忽游波鱗 麗島轉澤出谷鶴 是也

ちうらまらうらうらうらうら
 ちあつちのまらまのせしんまらうらうら
 ちらうの梅のいまらうらうら
 ちらきよひつらやまらうらうら
 ちうらまらうらうらうらうら

ちあつちのまらまのせしんまらうらうら
 ちらうの梅のいまらうらうら
 ちらきよひつらやまらうらうら
 ちうらまらうらうらうらうら

一 ちのよるゆひのともなくふとのそとにうら
 へてくるまじきま教句後句の中間也たさハ
 ぬたれうは言字也け難あつた音
 ぬ ちのちらとてらるぬるよ海わ
 ちのえうわのわられつとらん
 あさゆたにむよはくく一ぬのしを
 ちのうとまゝみましにわのま
 ちのうのあさ海まのめあつとらん
 た ちのうのひらつちまらん一ちのち
 ちの物の名まそとくもあはらんやあはらん
 ちのわー

た ちのうのひらつちまらん一ちのち
 わーちのまゝみましにわのま
 ちのうのひらつちまらん一ちのち
 ちの物の名まそとくもあはらんやあはらん
 ちのわー

り のとありう一ちのちまらん
 ちのうのひらつちまらん一ちのち
 ちの物の名まそとくもあはらんやあはらん
 ちのわー

れ ちのうのひらつちまらん一ちのち
 ちの物の名まそとくもあはらんやあはらん
 ちのわー

ちのうのひらつちまらん一ちのち
 ちの物の名まそとくもあはらんやあはらん
 ちのわー

一 ともよのやみじこわくや純身云
 うる冬忠長いもいさのりーとまにふらりけれいふ
 くれやうーいさのりうの志とあふき
 一 夏のおとねはあまねかひいさ
 人いよのやおまこころあまきん
 流るりふなだよりありせはいつたあま
 人のこいれさう終ーいさ海ーいさ
 一 棟梁いもいさのりうの下よとさうれかあひつ
 て初とはくーいさうま
 かくまひあくやふ月のみーいさ
 いろりーいさのりあーいさのり
 お

一 康夷いよのりーと向の下よとさうれかあひつ
 らわく初とはくーいさうま
 一 おとろのくさあひの望りあいつくみ
 よ
 今つくつあつさわれはとらん
 ようよみそあつらん人ーあらの花
 ちひまことこれち枝まおれとと
 一 遍昭素性うりたのりーれ下にいさうまや
 へいふれあつてやうーいさ
 の
 梅乃ふれうまともみくひえこの
 あぬさう客のなへあまうへ
 おかこの月とそあてーいさ

はのれい人のおひやにならぬ

一 中のうへのやりの下はありてかぬいさ
らなるといふ

何處の行くといふのさうぢや

みのまあの世はなりはなりはなりは

おひそくのあのまのあのまの

あのまのあのまのあのまの

一 友別のみりの向の下はありて相といひく歌

やうのあのまのあのまの

まのあのまのあのまの

山をいりてみるはなりは

任りのまのあのま

いのあのまのあのまの

一 或口傳云人を費といハじりのいのあのまの

いのあのまのあのまの

あのまのあのまのあのまの

わのあのまのあのまの

あのまのあのまのあのまの

おのひはくわれをや人のみ

あのまのあのまのあのまの

あのまのあのまのあのまの

あのまのあのまのあのまの

よやたふの春は花のわらふは鹿のふかひに秋月
の赤に鹿の殺とほのふさう垣ぬの梅はま風乃
白ひとさうひ翠れ紅葉は時ぬのうらさく或村
西の晴りまの河なちの粉うらさくぬも色乃あはね
枯らるに紫ふれはほのり香具もあうらさくひあにさう
掃りらさくこのううひしてうらぶや人あよ。一掃りねこ
の月やあふの春や着のまめあふひひじくさそ
あつてよさうらさくさ春さうらさくうらりもやみうらさく
さうらりりのなほさ世なりやいささうさうのあひあふ
あつてさうらさくやさうらしては掃りら道もさうらあふねさ
口さうひとあひさうらさくはさうらさく大登文珠の津口さうら

ねこさうらさくさうらさくさうらさうらさうらさくさ
れゆ情ふ人のあはさうらさくさうらさく
一病さうらさくさ事
岸樹初二同 風燭同句二四同
浪船五言第四五七言六七同落花每句同
一初一二同といふ君の代のさうらさくさうらさくさうらさく
也君さうらさくさうらさくさうらさくさうらさく
一二四同といふさうらさくさうらさくのみれ字同事也
一五言第四五七言六七といふさうらさくさうらさくさうらさく
一每句同句さうらさくさうらさくさうらさく
一八病云

及目如

十一

同心乱思 桐蜂 渚鳴 花橋 老楓 中花 後悔 是也
一同心 初うりておれーんあそーんあそ

お海とわの今そあこさいふひるなる
みことのさけの寝ささくかお
あささやくみさりとおれーんころせ

乱思ハ才一うーの二才四りのうーの二才四也

あーんあそあそあそあそあそあそ
こころひの月とあみさううや

桐蜂ハ初のみふ字の終ハ一字才八句の終ハ一字四也

さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう
さうさうさうさうさうさうさうさうさうさう

一渚鳴ハ第三句ハ終の二字終の七字ハ終の一字四也

渚鳴ハ渚ハやぶさあまハひつをかん
あそあそあそあそあそあそあそあそ

一花橋ハ名物の乱とわひとせたとくハ菊と乱はて

さくさくさくさくさくさくさくさくさくさく
おとくおとくさくさくさくさくさくさくさくさく

一む楓ハ乱とくさあふもたさハお茶と乱はて小舎

の山のさくさくさくさくさくさくさくさくさく
あそあそあそあそあそあそあそあそあそあそ

一枝さりのうーなさいさくさくさくさくさくさく

ふきるれは白くさくさくおぼしきしうらなひのよきこひ
句とてうらうらひのりしれは別るうとほのめ純き

今らんやゆひ一とるまにたつ月の

あるまの月夜まらひはけし

あつ月とまの月と同一月あつとあつ月と
月とまの月とまの月とく眼あつ月と別
うき作のりしうらうら

一あに細の病をらんかりあつと格たつ細はあつ
二あにまの病と又物のあつと或物とあつたあつ
初は白あつぬきあつとあつとあつとあつとあつ
くしあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

いやうとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

あつとあつとあつとあつとあつとあつとあつとあつと

Handwritten text in a medieval script, possibly Gothic or similar, enclosed in a rectangular border. The text is arranged in approximately 12 lines. The script is dense and characteristic of the late Middle Ages. The text is mostly illegible due to fading and the style of the script, but some words like "et", "in", and "de" are visible. The text appears to be a liturgical or legal document.

Handwritten text consisting of a few characters, possibly a page number or a section marker, located in the center of the page.

Small handwritten text or mark in the top left corner of the page.

Small handwritten mark or text in the bottom right corner of the page.



